



結核しずおか

38号2016年4月27日

発行・編集

公益財団法人 静岡県結核予防会

〒420-0915

静岡市葵区南瀬名町6-20

TEL 054-261-2512

FAX 054-261-9474

Eメール tb-shizu.ha@gaea.ocn.ne.jp

HP www.jata-shizuoka.org



巻頭言

日本の結核新規登録者は19,615人(2014年)と初めて2万人を下回り、罹患率も人口10万対15.4まで改善されました。かつて結核は「国民病」として恐れられ、医学の進歩、生活水準の向上或いは各関係者の努力等により減少傾向にあります。欧米先進国に比べるとまだ3～4倍です。

このような中、健康・医療戦略(2014年7月閣議決定)に即して策定された「医療分野研究開発推進計画」では、東京オリンピック・パラリンピック開催の2020年までに、わが国は低蔓延国入りできるよう結核に関する研究を推進することにしております。

結核予防会がこれまで展開してきた胸部X線検診は、高蔓延期の日本において肺結核の早期発見に重要な役割を果たし、現在でも47都道府県支部では600万人を超える胸部X線検診が行われております。また、現在の健康課題でもある生活習慣病などの多岐にわたる予防対策事業に対しても、全国支部との連携の強みを発揮して協同でネットワーク体制を整備し、年間約80万件の健診も実施しています。

このたびの日本宝くじ協会助成事業におけるデジタル胸部検診車導入につきましては、私ども結核予防会といたしましても予てからの念願であり、その一号車が静岡県結核予防会に配車されました。

精度の向上を目的とした最新鋭のデジタル装置を搭載した検診車は、静岡県民の皆様の健康の保持増進に大きく寄与するものと思っております。当会といたしましても全国ネットワーク事業を通じて静岡県結核予防会をはじめ全国の結核予防会支部と連携・協力し、より快適で精度の高い健診を提供できるよう努めて参りたいと考えております。

最後に、静岡県結核予防会のますますのご発展を祈念しますとともに、今後とも当会の事業運営につきましては、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



公益財団法人結核予防会 理事長 工藤 翔二



静岡県賀茂保健所の活動

静岡県賀茂健康福祉センター 地域医療課 増田佳世

結核予防週間における普及啓発活動

賀茂管内では概ね年間 10 人前後が新たに患者登録されています。その約 8 割が高齢者となっています。登録患者の多くが医療機関受診により発見されている現状ですが、早期発見するためには、症状が出る前の定期健診が重要です。

平成 27 年度は、より多くの住民に、結核に関する正しい知識を深めることを目的として、結核検診の受診啓発のための「結核予防週間」街頭キャンペーンを実施しました。今回、南伊豆町職員の協力を得て、地元の人が多く集まる地元野菜の販売所やスーパーを会場に実施しました。結核検診周知パンフレットに管内の結核発生状況を盛り込んだところ、「結核患者はもういないと思っていたが、身近に発生していたんだ。」「結核は胸のレントゲンを撮ることでわかるのか。他にわかる方法はあるか。」などと住民から反響があり、検診の必要性を認識してくれたようでした。やはり住民は「結核は過去の病気」という意識が強いため、今後も、市町の協力を得ながら普及啓発活動を継続していく必要性を感じました。



新登録患者数

[単位: 人]

年次	全国			静岡県			賀茂保健所管内		
	人口	患者数	罹患率 (人口10万対)	人口	患者数	罹患率 (人口10万対)	人口	患者数	罹患率 (人口10万対)
H23	127,799,000	22,681	17.7	3,752,629	579	15.4	72,407	9	12.4
H24	127,515,000	21,283	16.7	3,734,540	543	14.5	71,000	6	8.5
H25	127,298,000	20,495	16.1	3,715,901	560	15.1	69,632	11	15.8
H26	127,083,000	19,615	15.4	3,697,651	510	13.8	68,287	10	14.6
H27	-	-	-	-	-	-	66,960	3	4.5

【出典】 県・管内人口:統計しずおか「推計人口(毎年10月1日現在)」、全国人口・全国及び静岡県患者数:
(財)結核予防会「結核の統計」、賀茂保健所管内患者数:結核統計資料

賀茂・熱海保健所結核コホート検討会

毎年、服薬支援事業の一環として、結核コホート検討会を賀茂・熱海保健所合同で実施しています。平成 27 年度は、(財)結核研究所 国際研修科長 平尾 晋医師をお迎えし、賀茂地域は高齢化率 40.1%(県平均 26.8%)と県内で最高齢地域であることから、「高齢者の結核について」と題した講演会を実施しました。

例年、熱海総合庁舎を会場に実施してきましたが、平成 27 年度は初めて、下田総合庁舎を会場に実施し、44 名の医療・福祉関係者の参加がありました。会場が下田だったことに加え、賀茂医師会の御協力を得て実施したことで、賀茂管内から 25 名もの参加がありました(平成 26 年度 6 名)。今後も熱海保健所と会場を交互に実施していきたいと考えています。

定期健診で結核を発見される例もありますが、患者が体の異常を自覚して医療機関を受診(呼吸器症状受診・他疾患受診)し、結核と診断される例が多く、医療機関受診が患者発見の契機となるケースが多い現状です。患者の早期発見・早期治療のため、かかりつけの医師が結核を疑い、定期的な胸部 X P、喀痰検査を実施する体制ができるよう、今後も医師会等関係機関と連携して、普及啓発活動に取り組んでいきたいと思ひます。



日本宝くじ協会助成事業 デジタル胸部検診車導入



「ふじさん号」と申します!!

悠然としたその姿で、日本一の高みから県下をくまなく臨み、みなさまのもとへ健康をお届けできるように、また、県民のみなさまのさらなる健康増進という高みをめざせるよう願いを込めて名づけました。末永くよろしくお願いたします。



Q1. デジタル胸部検診車ってどんな検診車?

デジタル撮影機器を搭載した検診車です。デジタル撮影の特徴としましては、従来のミラーカメラではフィルム現像をしてレントゲン写真が出来上がるまで撮影状態が分かりませんでした。撮影した瞬間に胸部画像がモニターにて確認できるため、呼吸条件・体位のブレ・撮影上下位置・ネックレスなどの異物を判別できるようになります。



Q2. ふじさん号はどこに行けば会えるの?

県内各地へ赴きます。従来の住民検診での運用はもちろんのこと、職域検診および学校検診など様々な運用が可能となるよう、そのサイズや走行性は汎用性の向上をめざした仕様となっております。



Q3. ふじさん号のおすすめポイントを教えて!!



① 広い室内空間の確保

コンパクトな車体ながら、発電機や空調設備などを車体右側に乗せ、車内中心から左側に広い室内空間が広がっています。受診者の方々の車内における快適な移動が可能となるよう貴重なスペースを確保しております。

② 様々な天候時の検診への対策

野外にて行われる検診は、様々な天候に見舞われます。雨天や夏場の暑い日差しなど、受診者の方々にご苦勞をおかけすることもしばしば。お待ちいただく受診者のために、検診車出入口および左側面上部に遮光率の高い素材にて作成した大きな電動式テントを2基設けてあります。

③ より快適に、より便利に

集団検診とはいえ、可能な限りのプライバシーを保つべく、車内の待合室には、カーテンで仕切られた着替え用の個室（ハンガーフック・鏡・LEDライト完備）をご用意いたしました。また、ご高齢な受診者の方のストレスを軽減できるよう、出入口両側および待合室右側に大きな手すりを設置、お掛けになってゆっくりお待ちいただけるよう折りたたみ式の椅子をご用意しております。個室・椅子は最大で3名の利用が可能となっております。

ふじさん号の仕様について

車 両	車 種	日野 RANGER
	サイズ	長さ：696cm 幅：232cm 高さ：318cm

検診機器	
撮 影 装 置	富士フィルム車載フラットパネル (FPD) 装置
発 生 装 置	東芝胸部集検用 X 線発生装置
車内受付装置	ユーズテック受付システム

<製作担当者より>

このたび、関係各所のお力添えをいただき、このように、新たな検診車の整備導入ができましたこと、あらためまして厚く御礼申し上げます。また、平素、当会の検診事業へのご理解、ご協力を頂戴しております各種検診の受診者のみなさまへの思いを形にいたすべく、製作内容には、当会職員によるさまざま工夫・考察が盛り込まれております。みなさまのお役にたてればと幸いです。

今後とも、職員一同健康で明るい社会を創造する架け橋となれるよう日々励む所存でございますので、変わらぬご愛顧のほど、何卒よろしくお願いたします。



主催 公益財団法人 静岡県結核予防会

後援 静岡県

日時 平成27年11月27日(金) 14:00~16:00

場所 男女共同参画センター「あざれあ」 4階 第一研修室

『医療従事者が知っておくべき 結核の基礎知識と高齢化社会に向けての結核対策』

講師 公益財団法人結核予防会 結核研究所 対策支援部 放射線学科 星野 豊 先生

静岡県よりご後援をいただき各地域における疾病予防事業を支援するための一環として当会が主催する講演会が開催され、疾病の予防医療に関する専門知識を提供することを目的として年に一度の講演会を開催しております。

昨年度の講演会は当会本部より「医療従事者が知っておくべき結核の基礎知識と高齢化社会に向けての結核対策」と題しまして、公益財団法人結核予防会結核研究所対策支援部放射線学科の星野豊先生のご講演となりました。

日本の結核罹患率は先進国の中でも多く、いまだに日本国内最大級の感染症であります。結核菌を電子顕微鏡で見ると細長い形をしており、酸やアルカリや乾燥に強いのですが、紫外線には弱く外では生きられません。分裂に半日から一日掛かるため発育が遅く、潜伏期間が6ヶ月と長く、そのため薬も6ヶ月かけて飲み続けます。

結核は空気感染をし、鼻や口などから放たれる飛沫が水分蒸発し飛沫核が空気の流れに乗って漂う飛沫核感染を起こします。

結核の感染診断と発病診断における検査には違いがあり、感染を知るための検査には IGRA 検査やツベルクリン反応検査、発病を知るための検査には胸部X線検査や喀たん検査があります。

結核菌による感染の成立には結核菌の吸入後 2～3ヶ月掛かって成立します。せん毛により排出されれば感染不成立となりますが、肺胞に到達・定着すれば感染が成立となり、初感原発巣→所属リンパ節への移行→肺門リンパ節病変などの初期変化群へと移行していきます。

発病する人の割合に関しまして世界人口の 1/3 は感染していますが、健康だと発病しません。結核菌に感染しても約 8 割は一生発病しないのですが、残りの約 2 割は発病し、発病する約 8 割は感染から 2 年までに発病し、免疫力が弱い乳幼児や若年者が多く、発病する約 2 割は 2 年以上経って免疫力の低下に伴い発病し中高齢に多いとのことでした。

結核の 80%は肺結核なのですが、肺から痰が排出され、痰が食道を通過して腸などへ届くこともあるため、残りの 20%は結核症の全身への転移が見られることがあります。

結核の予防には、生後 1 歳までを対象（生後 5 ヶ月から 8 ヶ月を「標準接種期間」）とする BCG 接種が有効で、結核症の「発病」を 1/4 に抑え（乳児期の髄膜炎や粟粒結核に特に効果がある）、接種から 1 ヶ月後に免疫が成立（接種から 10～15 年程度は予防効果が持続）します。後日、きちんとハンコ注射がされたかどうかの問い合わせに対して、住民の方々に対して何か参考になる資料等がありますか?といったご質問もありましたが、日本ビーシージー製造㈱のホームページにハンコ注射の写真が掲載されていますし、資料も取り寄せできるので、こちらをご参考にされてみてはといったお話もありました。

この他にも法律のお話や結核対策、外国出生者に対する健診や院内感染対策など、行政関係の方々に対しての内容も含まれ、非常に素晴らしい講演会となりました。

検診課：宮崎文考



表彰のご紹介

みなさまのご支援ご協力に心より感謝申し上げます

平成27年度 公益財団法人静岡県結核予防会表彰

結核予防事業功労者(個人)

吉田みさ子様

(浜松市保健所推薦)

平成27年度 静岡県結核予防婦人会長表彰

複十字シール 募金成績優良団体

静岡市支部 駒形地区 様
静岡市支部 安西地区 様
御殿場支部 高根地区 様
御殿場支部 印野地区 様

使用済み切手 収集成績優良団体

伊豆市支部 様
沼津支部 様
駿東支部 様
裾野支部 様
御殿場支部 様

結核予防功労者

前任支部長

沼津支部 後藤 榮子 様
富士支部 野村 陽子 様
焼津支部 大橋 恵美子 様
駿東支部 鈴木 廣子 様

前任支部役員

沼津支部 江藤 セツ子 様



なぜ・なぜ・なあに？

結核って どんな病気？



かつては、国民病として恐れられた結核は、決して過去の病気ではありません。現在死亡する人は激減し、病気別の死者数順位も後退しているため、過去の病気と思われがちで、結核に対する関心も薄れてきています。

結核が復活したのは、むかしの結核患者は若者が中心でしたが、その結核が治ったと思っていたら、結核菌はそのまま体内に留まって、その若者がお年寄りになり抵抗力が低下したために、ふたたび暴れだし発病しているのです。その一方で、結核菌に出会ったことがないのに、結核菌に対して免疫のない若い人にも増えており、抵抗力が落ちる原因は高齢だけではなく、お酒の飲みすぎ、糖尿病、じん肺、人工透析、胃切除後、副腎皮質ホルモン剤の治療を受けている人、エイズウイルスに感染した人などは免疫力が落ちて、結核にかかりやすくなります。現在では結核に有効な治療薬があり、結核はほぼ治りますが、近年、薬の効かない薬剤耐性結核菌が出現し問題になっています。

むかしは身のまわりに結核患者がたくさんいて、その患者から菌を吸入した人が発病し、微量の菌を吸入しただけの人は抵抗力が強ければ感染だけに留まることができました。実は、その発病しなかった人たちが、高齢になり体力が衰えて発病してきています。むかし結核菌を吸い込んで感染していた人のように、結核菌そのものを吸入することによって、強い抵抗力をつけている人は現在少なく、結核菌に対する免疫のない人は、BCG(弱毒化したウシの結核菌)を接種して、抵抗力をつけているにすぎません。BCGの有効期限は10年から15年とされています。結核菌は1回分裂するのに15時間程度かかり、たいへんしぶとい菌で、からだのまわりをロウのような物質で囲って外敵から身を守っています。人のからだは、結核菌の発育に適した温度が保たれ、栄養素や酸素も豊富にあるので、増えるのにたいへん都合のよい場所です。人体の抵抗力が強くて、結核菌にとって不利なときは、冬眠しながらひそかに生き延び、抵抗力が弱まるのを待って、結核菌はふたたび増えて暴れだします。何十年も前の感染が原因で、急に発病するのはこのためです。

結核は、現在でも最大の感染症のひとつであることには変わりありません。結核に対する正しい知識を身につけ軽視しないように、また、適切に対処することで恐れすぎないようにするのが必要です。

結核発病のリスクが高い人たち

- 抵抗力の弱い子どもやお年寄り
そのほか社会的に弱い立場の人、栄養状態のわるい人、健康診断の機会に恵まれない人も。
- 合併しやすい基礎疾患のある人
人工透析を受けている人、糖尿病患者、胃切除後の人、副腎皮質ホルモン剤の長期投与を受けている人、HIV感染者など。
- 不衛生な生活

出典：『結核よみがえる恐怖の感染症』
元結核予防会第一健康相談所 杉田博宣 著

検診課 渡井雅文



健康レシピ

春キャベツとニンジンの コールスローサラダクルミ和え

～健康に良い免疫力を高める食べ物～

これらを一緒にとることで、
胃腸を丈夫にし、がん予防効果もUPします！

	注目の栄養	効果
キャベツ	ビタミンC・ビタミンU	肌荒れ改善などの美容効果・血流悪化抑制・披露回復 ビタミンU(キャベジン)による胃腸の潰瘍の治癒など
ニンジン	ビタミンA(β-カロテン)・カリウム	のどや鼻の粘膜を丈夫にし、細菌に対して免疫力を高める効果あり 血圧の上昇を抑える働き
クルミ	オメガ3脂肪酸	LDLコレステロールや中性脂肪を下げたり、脳を活性化させる効果が期待できる

材料 <2人分>

- ・キャベツ 2～3枚
- ・ニンジン 中1/2本
- ・ツナ缶 1/2缶
- ・クルミ 3～4個
- ・えごま油 または
オリーブオイル 小さじ1
- ・すし酢 小さじ1
- ・レモン汁 少々
- ・塩、コショウ 少々



つくりかた

1. キャベツとニンジンをせん切りし
軽く塩をふっておく
2. ツナ缶は油をきり、クルミはフライパンで
軽く炒ってから、細かく割っておく
3. 野菜の水をきってから、材料をすべて混ぜ
合わせ味が馴染んだらできあがり！

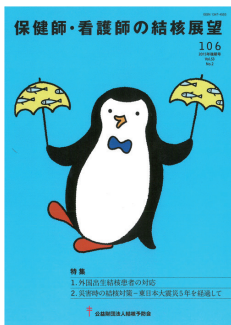
総合健診課 上西昌子

結核予防会の本

出版案内

結核を中心とする疾病の予防に関する正しい知識を広く県民の方に普及するために、公益財団法人結核予防会が編集・出版している専門書やパンフレットなどの案内をしております。

好評発売中



結核に関する新情報！ 日々の業務に欠くことができない雑誌 「保健師・看護師の結核展望 106号」

「行政」「業務」「事例研究」「わたしたちの仲間」「相談」の各欄に分け、結核に関するすべての動き、情報、研究、調査、業務等を網羅しており、保健師・看護師の業務に欠くことの出来ない雑誌です。

今回の特集は、「外国出生結核患者の対応と、災害時の結核対策」です。
この雑誌は、定期購読を利用することができます。 定価 2,052円(税込)

「現場で役に立つ I GRA 使用の手引き」

「インターフェロンγ遊離試験使用指針」を反映した、最新刊です。

定価 1,728円(税込)



研修会などの資料におすすめてです！

平成 27 年改訂版 治療中のあなたと家族の方へ

「結核?! でも心配しないで」

定価 248円(税込)



パンフレット
「結核の常識 2015」
普及啓発資材のため、在庫がある限り無料で提供いたします。



書籍の注文および出版案内をご希望の方は、公益財団法人静岡県結核予防会までお問合せ下さい。
TEL : 054-261-2512 FAX : 054-261-9474
HP では最新情報を掲載しております。
どうぞご利用ください。

HP : <http://www.jatahq.org>



平成 27 年度実績報告

1,388万円

複十字シール募金にご協力ありがとうございます。

複十字シール運動は、複十字シールを媒体とした募金活動です。

目的は、結核・肺がんCOPD(慢性閉塞性肺疾患)などの呼吸器疾患をなくし、健康で明るい社会を作ることです。皆様のあたたかい善意にささえられ大きな実績を得ることができました。心から感謝申し上げますとともに、今後も変わらないご協力をお願いいたします。

平成 28 年度複十字シール原画



安野光雅先生によるデザインで、今回は「もうひとりの自分」がテーマとなっています。

今年度も皆様のお手元からこのシールを世界中に広めていただきますようご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

題字：田中 隆(元当会職員) 表紙撮影：村木弘知(元県職員)